



Bb の歌「Blue Bus Blues」 20～25 分プログラム

| 【歌う・動く・身振りする：英語を体で覚える！】 | | | | |
|-------------------------|--|---|--|--|
| 過程 | Jazzles サイト | 生徒の活動 | 先生の活動・声掛け | 目的・効果 |
| 導入 | Uppercase "Blue Bus Blues" | スクリーンに集中する | 「今から「ビー」歌をみんなで見ろね！」 これは、なんの文字でしょうか？ | 文字の形を覚える、文字の発音を身に付ける。歌はすぐに覚えられないのは普通。Jazzles 開発者のレスリー・バスも、月から金まで毎日少しやれば子どもたちが覚えていくと説明して、一回だけで覚えることが中々ない。まずはメロディーと歌詞の中で出る言葉を覚えることが大事。 |
| 展開 | | | | |
| 2 分 | Animation 1 回目 | ・初めて歌を耳にする 聴いて歌を覚える | | 歌を覚えることで、英語の発音が耳に残る |
| 5 分 | Uppercase "Blue Bus Blues" + Flash Cards | ・先生に感想を教える ・どういう言葉が聞き取れたかを伝える ・どういう話だったかを説明してみる | ・感想を聞く 「ちょっと分かった？」 「Blue Bus Blues の意味が分かった？」 ・フラッシュカードで学習 | ・感想を聞いて、もう一回聴く前に少し間を空ける ・カードの目的は ① 音と絵 そして ② 絵と文字 を順番に繋げることです。 |
| 2 分 | Animation 2 回目 言葉を捜す | ・Card で習った言葉を口にしてみる | ・Card の言葉が出たら一時停止する | 子どもには言葉を口にするように Motivation をさせる。日本語でも良いので、とにかく参加させる。 |
| 2 分 | Animation 3 回目 ジェスチャーをする | ・アクション（ジェスチャー） ・分かる言葉を口にしてみる | ・歌と言葉の意味を軽く説明する ・アクション（身振り） | 言葉を口にしてみると、学習が進む |
| 5 分 | Talking Books, Reading ※好きなことにクリックすると、発音されると、自由にナビゲートできる | ・単語の意味を覚える ・アクションを覚えて、まねして、身に付ける ・イメージを作る | | 語彙力をあげる、理解力をあげる 言葉を体で覚える、身振りは大事な作業 子どもの中で「K」タイプ（体で覚える）子どもがとて多いため、ただ観て聴いて覚えるだけでなく、体を使うことも大切。 |
| まとめ | | | | |
| 2 分 | Animation | 今まで習ったことを全て活かす | 最後にアニメーションを見せる | まとめ |
| 5 分 | Game Sweeper Listening Matching | | Sweeper はよくクラスの最後にやる。子どもたちは自分で操作して、お互いをヘルプすることが多い。スコアの記録も出来て、トップスコアを目指すのに子どもたちが精一杯。 Listening はグループでもチームでもできる。Listening Skill を中心に、音と絵の繋がりを強くする。Matching は 1 人ずつでも、みんなでも出来るゲーム。Reading Skill を中心に、文字と絵の繋がりを強くする。Matching したら音が流されるので Listening にもなる。 その他に神経衰弱、パズルなどのゲームがあって、クラスの最後に、あるいは自由時間に子どもにやらせたらうと楽しく英語を身につけることが出来る。 | |